

平成28年6月定例会においては、13人の議員が30項目の質問を行いました。
(全文については後日、町議会ホームページの「会議録」に掲載します。)



1人1人に合わせて

富永 やよい 議員

「通級」学級



質問（議員） 通常学級に在籍する軽度な障がいを持つ児童生徒に対して、別の教室などで障がいに応じた教育を受けられることを「通級」というが、取り組みはどうなっているのか。

答弁（学校教育課教育指導監） 現在、通級の学級は設置していないが、人数などの要件が整えば県教育委員会と協議していく。また、保護者や教職員に対しても認知度を高めるために今後広報に

Q 文化庁の芸術家派遣事業「アウトリーチ」は

質問（議員） 昨年の12月議会以降の取り組みは。

答弁（学校教育課教育指導監） 今年度南小での実施が決定しており、他校でも他の団体と連携するなど積極的な取り組みを呼び掛けている。

桑原 公治 議員

織田幹雄氏



質問（議員） 町として織田幹雄氏の偉業をどのように伝えるのか。

答弁（町長） 町のPRポスターや動画、ゆかりの品のレプリカを作成し、活用することとしている。

質問（議員） 銅像や記念碑を建てる考えはないか。

答弁（教育長） 考えていないが、展示や記念館のデザインの中で功績を称える工夫をしたい。

Q 庁舎移転と大震災への対応は

質問（議員） 現在の役場庁舎の耐震診断は実施しているのか。

答弁（町長） 移転を予定していることもあり、実施していない。

質問（議員） 移転先はまだ決まっていない。住民投票を行う考えは。

答弁（町長） 現在は、県海田庁舎跡地に移転することを基本に進めている。

※織田 幹雄 氏
海田町出身で日本人初のオリンピック金メダリストです。(三段跳び)



偉大な功績を後世に

Q 偉業をどう伝承していくか

A 様々な機会を通じて周知していく

「一般質問」とは、議員が町の行政全般にかかわるさまざまなテーマについて、町の方針や町長の考えなどを問いただすものです。



ボールも人も筒抜け

兼山 益大 議員

危険回避



質問（議員） ボールが道路に出て車両破損や巻き込み事故を誘発しかねない。また不審者侵入対策としてもフェンス設置といった改善が必要ではないか。【海小・西小】

答弁（学校教育課長） 学校や利用者へ早期に聞き取りの調査をする。

Q オンリーワン施策とは

A 地区ごとの目標を掲げたもの

質問（議員） まちまるごとオンリーワン施策とはイメージだけの施策なのか。

答弁（企画部長） 4地区それぞれの特性にあったまちづくりや目標を掲げたもの。

質問（議員） 都市計画法にかかる「地域地区」を再設定することか。

答弁（都市整備課長） 今のところそこまでは考えていない。

その他の質問 ●にぎわいのある町の玄関口であり続ける手法は

多田 雄一 議員

地震シェルター



質問（議員） 現在の町の耐震に対する補助金は利用者が少ない。家全体の工事だと多額の費用がかかるのも一因だと考える。住宅の一部を耐震化する地震シェルターの設置に補助金を出してはどうか。

答弁（町長） 町内の住宅の耐震化を進めるために従来の制度の見直しをするとともに、シェルター設置への補助についても検討する。

Q 学校の内装などの耐震化を

A 進める

質問（議員） 学校施設の建物については耐震化が終わっているが、天井や照明などの設備の耐震化はどうか。

答弁（教育長） 平成27年度に調査し、14施設に問題があったので、来年度より計画を立て実施する。

Q 小学校グラウンドの防球・防犯対策を

A 状況把握に努める

地震シェルター

シングルサイズ（セミダブル）



45万円+5万円 25トンまで耐えられます